

カナダ春期英語研修報告書

人文社会学部人文学科英語圏文化論教室

2年 市毛里奈

授業

カナダについた次の日に首都大生だけでなく、違う学校や国からヨーク大学に英語を勉強しに来た人たち全員で英語のライティング、リーディング、リスニングの3技能の事前テストを受ける。その結果に基づいてクラスが分けられ、6クラス以上が午前授業、5クラス以下が午後授業になる。クラスのレベルの中にもいくつかの教室があり、クラスのメンバーには中国人や中東の人がいて、私たちと同じ時期に来た人やその前の学期に下のクラスにいて上がってきた人たちがいる。1学期が2か月なので私たちはその半分しかいないので内容も半分になるため4技能の何かに1か月は重点が行く。私のクラスはライティングがメインだった。もちろんライティングに重点を置いていてもそれ以外のことも勉強した。英語で英語を学ぶので中学校高校の英語授業とは違い、新しく知れることが多かった。

生活

大学内にフードコートのような場所やカフェなどがいくつかあるので基本にご飯はそこで過ごした。店の種類も豊富で、メニューも多いため飽きることはなかった。寮は一人部屋なので自分の時間を作りやすく、過ごしやすかった。私が行った時期のカナダはとても寒い時期だったが、室内は暖房がちゃんと効いているのであまり厚着しないで済んだ。寮内の共同スペースにレンジやお湯を沸かすものがあったので、大学内のスーパーに売っているカップラーメンなども食べることができる。大学にある図書館がとても大きく、勉強スペース、話せるスペース、私語厳禁スペースなどがあり、そのときの自分のする勉強や好みで勉強する環境を決めることができたり、図書館が遅くまで空いているので自分の勉強を集中して行うことができたりした。Wi-Fiも学内にあるので寮や教室などでは学内のWi-Fiで十分過ごすことができたが、ダウンタウンなど学外に行くときにはわざわざ探すのは大変なので友達と共有で1つ日本から借りて行った。



自由時間



私は午前授業だったため午後は時間があつた。授業の課題をやったりダウンタウンに出かけたりした。一緒にいた友達も午前授業だったためその人と1週間の初めに何曜日にでかけるかとか計画を立てて、勉強と遊びを両立させた。休日も1日は思いっきり遊んで、もう1日は図書館で課題をやったり、自分の勉強をしたりした。地下鉄の駅が大学内にあるので気軽に自由な時にダウンタウンやショッピングモールに行くことができた。研修の最初と2番目の週末

で基本的な観光地を回り、平日の午後にはショッピングモールにお土産を買いに行ったり、チャイナタウンやコリアンタウンで昼食を食べたりした。

おわりに

カナダの研修に参加したことで、英語のことをより深く知ることができるようになり、さらに興味がわくようになった。私は違う文化で生活すると日本と比較することがよくあり、お互いの国の長所や短所を考え日本を再認識する。さらにカナダにいる間に私の専門が英語圏の文化に決まったため、より興味を湧くようになった英語を学び、知り、日本との比較に繋げていこうという勉強への意欲が高まった。